

WINTER CUP 2022

「自分のゴールでチームに流れを」 エース気合十分

八学光星高3年

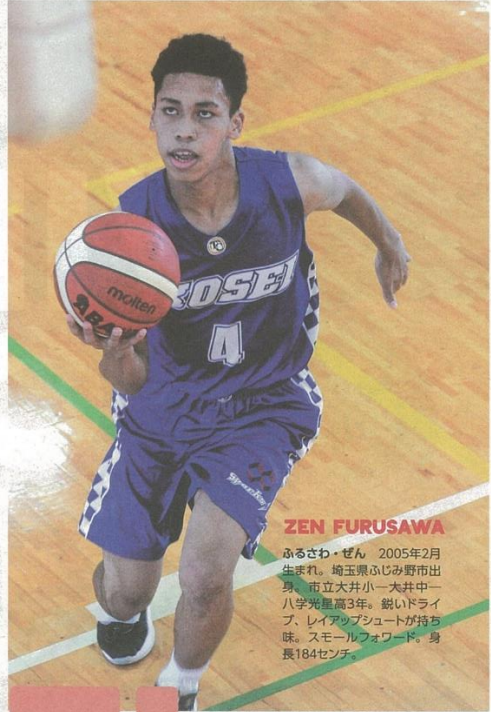
古澤 然

米国人の父と日本人の母を持つ。高い身体能力を生かした力強いドライブからレイアップシュートまでの二連の流れは全国レベル。「自分のゴールでチームに流れを持つてくる。必ず全国に行く」と鼻息は荒い。

中学3年時の関東大会で活躍し、全国の複数の高校からオファーがあった。「トップクラスの高校に行くよりも、中堅校でチームを引っ張りたい」との思いから、母の母校だった八学光星での競技生活を選んだ。

今夏の青森県高校総体決勝の柴田戦では、エースとして終盤に味方からボールを託された場面でシュートに持ち込めず、逆に速攻を食らって、試合の流れが一気に相手に傾いた。苦い記憶だ。「逃げのプレーをしてしまった。体力が持たなかった」と後悔を口にしている。

悔しい思いはもうたくさんだ。「県大会ではパワーとスピードで圧倒して、絶対に優勝する。全国で光星初の1勝をつかむ」と闘志を燃やす。



ZEN FURUSAWA

ふるさわ・ぜん 2005年2月生まれ。埼玉県ふじみ野市出身。市立大井小一・大井中一・八学光星高3年。鋭いドライブ、レイアップシュートが持ち味。スモールフォワード。身長184センチ。

KOSEI

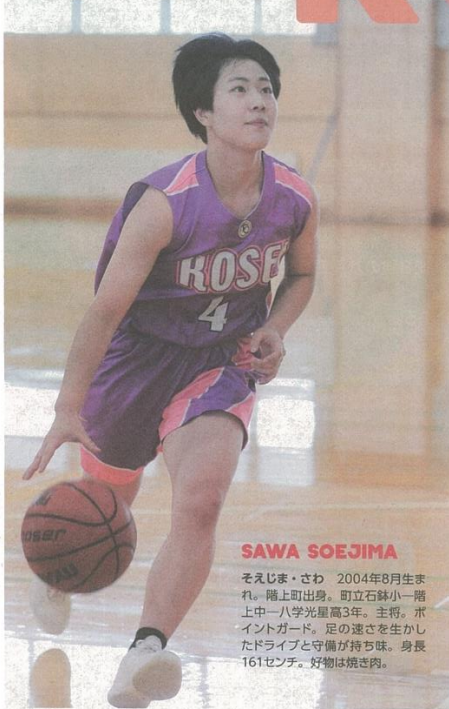
高国全

走るプレーに自信 勝って全国へ

八学光星高3年

副島 紗和

(階上町出身)



SAWA SOEJIMA

そえじま・さわ 2004年8月生まれ。階上町出身。町立石鉢小一階上中一・八学光星高3年。主将。ポイントガード。足の速さを生かしたドライブと守備が持ち味。身長161センチ。好物は焼き肉。

スピードとパワーを兼ね備えたポイントガード。時には50メートル6秒8の俊足を生かしてゴール下に攻め込み、チームを活性化させる。「走るプレーは全国でも通用する自信がある。攻守で勝利に貢献する」と気合十分だ。

昨夏の青森県高校総体終了後、主将に立候補。同秋のウインターカップ県予選からチームを引っ張る。敵陣からボールを追いかけ、相手ポイントガードの自由を奪う。しぶとさは評価が高く、ライバルの脅威だ。

課題は攻撃面のレベルアップ。「もっとアシスト数を増やしたい。周囲を見てプレーすることを意識していく」。日々の練習ではさらなるスキル向上に余念がない。

今夏の県高校総体は決勝でライバル柴田に31点差で完敗だった。今回のウインターカップで、青森の切符は「2」。チームにとって3年ぶりの全国大会出場的好機だが「準備万端で行く気はない」と油断はない。「目の前の試合に集中し、必ず優勝する」